

# 第1回松阪地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

## 事項

### 1. 委嘱状の交付

- ・山中市長より各委員に委嘱状を交付

### 2. 中心市 松阪市長あいさつ

皆さん、あらためまして、こんにちは。

本日は本当にお忙しい中、松阪地域定住自立圏共生ビジョン懇談会に、各分野・各地域からお集まりいただきましたことに心より感謝を申し上げますとともに、それぞれの分野や地域において、地域住民の幸せに対してご尽力いただいていることに対しましても感謝を申し上げます。

この懇談会において、定住自立圏共生ビジョンを議論していただきますが、お願いしたいのが、理念だけの会議にしたいとは思っておりません。今回の連携17項目において、すでに1市3町で実行しているものも多々ありますが、それに加えて、これまでいっしょに進めてきたことをより具体化していく中で、「政策として磨いていこう」「実行していこう」という案件もございます。その中で、理念像とか「こうしていけばいいな」というのではなく、「こうやっていこう」というのが定住自立圏の内容でございます。本日は、医療・福祉、子育て、防災、地域観光など、さまざまな分野の方々に集まっていたい中で、これまでやってきたものをよりブラッシュアップするもの、また、17項目以外でも「将来的にやっっていけない分野だよな」ということも含めてご議論いただければと思っております。

この共生ビジョンというのは、あくまでもビジョンの部分がありますが、現実として市民・町民の幸せ、地域の幸せにつながる連携軸としての具体的事業を土台とした懇談会にしたいと思っておりますので、市民の幸せに貢献し、市民の痛みに寄り添っていく、そのようなビジョンをつくっていただき、具体的施策に結び付けていくご議論をいただければと思います。

10年後20年後に向けて、しっかりと1市3町が連携し、具体的事業がより効果的に、子ども達の未来に向かって進んでいける、そんな懇談会にしていただければと思っております。

平成27年度から平成31年度までに具体的に取組んでいくビジョンでございますが、これまでに事務局レベルでは、きめ細かに協議をしてまいりました。

今後は、それぞれの現場の皆様からの声を、素直にお聞かせいただく中で、皆様方からご提言いただきましたことは、仮に定住自立圏の枠でなくても、それぞれの町や市で実現していけるところは実現していきたいと考えておりますので、子どもたちの未来に向かって活発なご議論をいただける共生ビジョン懇談会になりますことを祈念させていただきますまして冒頭の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 3. 自己紹介

- ・委員・事務局員の自己紹介

#### 4. 松阪地域定住自立圏共生ビジョン懇談会の設置要綱について

- ・担当者より懇談会の設置要綱についての説明

##### ◆委員からの質問なし。

- ・会長・副会長の選出

会長については、委員より「事務局案はありませんか」の声があり、事務局より岩崎委員を推薦。全委員承認。

副会長については岩崎会長より廣地委員の指名があり、全委員承認。

#### 5. 定住自立圏構想について

#### 6. 松阪地域定住自立圏形成に至る経過及び今後のスケジュールについて

- ・担当者より、別添資料2～7を元に説明。

##### ◆委員からの質問なし。

#### 7. 松阪地域定住自立圏共生ビジョンについて

- ・担当者より、共生ビジョン全体部分について説明。

- ・連携項目各シートについて、各担当課職員より説明。

1. 一次救急医療体制の維持・拡大充実（健康推進課）
2. 二次救急医療体制の維持（健康推進課）
3. 保健衛生業務の連携強化（健康推進課）
4. 介護保険の要介護認定等に係る審査の充実（介護保険課）
5. 病児・病後児保育広域対応事業の維持（こども未来課）
6. 「徘徊SOSネットワークまつさか」の広域化（高齢者支援課）
7. 差別のない地域社会づくりの推進（人権まなび課）
8. 企業誘致及び企業間連携の推進（企業連携誘致推進室）
9. 広域連携による就労支援、雇用促進（商工政策課）
10. 地域資源を活用した地場製品の振興（MADE IN まつさ課）
11. 不法投棄防止対策の推進（清掃事業課）
12. 相互応援体制・広域避難体制の整備（危機管理室）
13. 圏域で連携した道路網の整備促進（土木課）
14. 地域づくり団体のネットワーク化（地域づくり応援室）
15. 観光戦略の広域化（観光交流課）
16. 行政情報番組の放送及び共同制作（情報企画課）
17. 職員合同研修事業の推進（職員課）

##### ◆委員からの質問

◎会長：

事務局へ確認したい。第2回目以降、17の項目について2回に分けて詳細にご検討・ご議論いただくということで、ただ今担当課の皆さんから説明のあった具体的な事業の内容や個々の費目など、そういうものは資料として提供していただけると考えてよいですか。

◎事務局：

議論していただきやすいように事務局（担当課）として、積極的に提供したいと考えておりますので、必要な資料等がございましたらご連絡ください。

◎会長：

私個人的にもぜひお願いしたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

本日残りの時間ですが、皆さま大変忙しい中お集まりいただいておりますので、5時までには会議を終了したいと思っておりますが、今、お話のありましたように次回以降、個々の事業については詳細にご意見いただくということで、本日は全体を通して思われたこと、お感じになったこと、疑問に思われたことなどをいただければと思っておりますし、また、個々の事業についても、中身というよりは、こうした資料を提供していただければ次回以降、より実のある検討ができるのではないかとというような観点から、ご用意いただきたい資料などについてご発言いただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

短い時間ではございますが、ぜひ積極的にご発言をお願いします。

◎委員：

広域圏の仕組みというのは、中心市や、それを取り巻く市町の強み弱みを圏域でフォローしながら住みよい町を作っていこうということだろうと思っておりますが、今日は非常に時間が短いので、全体の事業とかをお聞かせ願ったのかなと思っております。次回以降は、2回目で10項目、3回目で残りの7項目に区切るとのことですが、たくさんの事業がある中で、例えば松阪市はこういう強みがあるが、他の町については弱いので、だからこういう事業を行っていくなど、背景と課題みたいなものをもう少し詳しく教えていただければ、皆さんがもっと議論しやすくなるのかなと思っております。

例えば観光では、交流人口をこの地域で伸ばしていこうとするのならば、現状として松阪市にはどれだけ来ていて、多気町、大台町では交流人口が非常に少ないから広域としてこういう対策を練っていく。そういう現状がよく分からなかったら、非常に議論がしにくいのではないかなと思っております。新たに資料を作れというのではなく、既存の方法で、今後準備していただけたらありがたいと思っております。

◎会長：

今のことについて、事務局あるいは担当課から何かご回答ありますか。

◎事務局：

せっかく委員の方に、観光協会の方がいらっしゃいますので、まず委員としてのご意見をいただいて、補足として行政側からお話しさせていただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。

◎会長：

全体を通して松阪地域にはこういう課題があって、その解決のためには、この

担当課とこの担当課でこういう事業を起こして、課題とそれに対する対応ということをおっしゃっていただくのか、それとも個別事業ごとに課題と現状認識とそれに対する対策ということをおっしゃっていただくのでしょうか。

◎委員：

連携項目については変えられませんので、中身を議論するのに、もう少し皆さんに分かってもらわないと本当の議論ができないと思います。

今の説明だけですと、事業概要と事業効果に予算という話だけで、ビジョンとしてはこういう様式で出ていくのだと思いますが、議論するうえでは、これだけではなかなか難しいと思います。関係市町に、この辺を教えていただけたら、議論できるのではと思います。

◎会長：

この対応策を書いていたのも、担当課の皆さんですので、どういう課題を認識されてこの事業計画を描いているのかと、まず担当課からのご説明があって、それに対して「いや私達はこういう風に考えている」と懇談会の委員からご発言いただく、そういう振り出しが必要じゃないかと思います。

◎委員：

私も思います。そうすればもう少し、皆さんで議論しやすいのではないかと思います。

◎会長：

貴重なご意見であったと思いますので、ぜひ次回以降の資料作成に向けてご検討いただければと思います。

◎委員：

よく似た意見になりますが、17項目を説明いただきましたが、昔の考えからいくと飯多松（飯南・多気・松阪）で県の事務所もあった当時、ほとんどの事業がそういう形の中でやられてきました。体育祭など色々な連携事業がありました。

先ほど言われた、これから策定するビジョンの中で、具体的にこれまでこういうことをやってきたけれども、まだまだこういう問題点があるとか、よかったことというのを具体的に出していただければ、我々としては論議がしやすいと思います。新聞でもこれまでの取組みなどは知ることができますが、十分な情報を得られていませんので、できる限り出していただいて、「これについてはこういう考えを示していきたい、それについてどうですか」、また、「今までこうしてきたけどここがうまくいかなかったということについて、今後どうしていくのか」というような議論をやりようと思えば、各分野からもう少し詳しい資料があればと思います。先ほど、観光のことを例に言われましたが、僕らも人口が減っていく中で地域の活性化についてどうするのだろうと、とにかく町外からこの地域へ来ていただかないと活性化にならないと思います。

大台町の場合は特産品も椎茸やお茶で、飯南などもそうですが、本当に今伸び悩んでいます。お茶なども今はインターネットで安く買える時代ですが、やは

りこの地域の特色を生かして、この地域へ来ていただいて帰りに地域特産品を買ってお帰りいただきたい。物を売ることも大切ですが、大台町や松阪市に來なければ見れないものを見ていただく、これはインターネットではできません。この地域に来ていただいて、帰りに特産品を買っていただくというのが一番いい方法だと、僕は言っています。そういう形の中で、地域の皆さんはどのように思っているか分かりませんが、人をいかにしてこの地域へ呼び寄せるか、昨年の例をとりますと1,400万人の人が伊勢神宮に來たわけです。その1割でいいから大台町に來ていただき、フォレストピアへ宿泊していただいたり、熊野古道を歩いてもらったり、昼食を大台町でとっていただくなど、そういうことをしてもらえるように手がけていかないといけないと、そういうことも含めて、定住圏の中でどうしていくのか考える必要があるのではと思っています。

◎委員：

共生ビジョン（案）のページ数からいいますと、10～13までが医療の関係だと思えます。そこで委員の皆さんにお聞きしますが、今ここに示されている資料だけで次回検討をしていただけますか。それともどのような参考資料が必要でしょうかというご意見を一度伺いたいと思います。

◎会長：

どなたからか、お話しをいただけるとありがたく思っていますがいかがでしょうか。医療サービスをこの地域で利用されている立場からお願いします。

◎委員：

冒頭申し上げましたとおり、国が定住自立圏構想を打ち出した時、この圏域を見た時にはるかに進んでいたのがこの医療分野です。いまだにこの圏域がたぶん県内トップぐらいじゃないかと思えますので、あらためてこの部分をどうするかというのは、更に強化するというような位置付けさえあれば、その段階で定住自立圏構想の中身はほとんどクリアしていたというのが実態です。ですので医療分野については、むしろ、こんな課題があり、それをどういうような形でどう整理していくかとおっしゃっていただくのが大きいかと。

◎会長：

先ほどの委員発言の言葉を借りると「強み弱み」という言葉がありましたが、医療は松阪地域にとって強みであるという認識に基づいて、よりその強みを深めていくためには何をしていかなければという観点から検討したらどうかと理解しています。同感だというご意見でも結構ですし、また自分の感じ方は違うというようなご意見もよいかと思えますが、皆さんいかがですか。

◎委員：

今、大台町観光協会の会長から、色々と観光分野に関してお話しをいただきました。

昨年、式年遷宮がございまして、本当に松阪近郊はたくさんの方々で潤いました。

ただ、式年遷宮が終わり、我々は極端な落ち込みがあるのではと懸念しており

ましたが、それ程でもない状況です。

何故かと言いますと、まだまだ熊野古道 10 周年の息も途絶えておりませんし、式年遷宮の息も途絶えておりません。ただ、松阪市だけで一生懸命やっているというわけではなく、いかに松阪の町に足を運んでいただくかということ、鳥羽市や志摩市、伊勢市と、「海の幸のあとは松阪牛ね」ということで連携を図っております。

定住自立圏構想の中で、当圏域は 1 市 3 町という形になっていますが、松阪が中心というわけではないですが、松阪から逆流で大台町や明和町にも人を流して、松阪に来ていただいた観光客、それから観光客以外の方々に対しても、ともに連携しあいながら流し合うということが大切ではないかと思えます。今、担当部局からガイドブックの連携などの話がありましたが、まさしく市町でやるということは、以前はなかったのです。

観光協会同士というのはやりやすいのですが、市町同士はやりづらく、地図はここまでとか色々問題があったらしいのですが、やっと今になって連携があって 1 つの地図にまとめて 1 市 3 町で連携しあえる。共生ビジョンのなかで、連携がたくさん出てきますが、まだまだ今日が最初でございますので、正直な話、やはり観光客の方々をいかに流すのかということ部局のほうと相談しながら、意見を申したいと思えます。

◎会長：

観光に関して、連携の枠組みとしては定住自立圏ばかりではなく、様々な枠組みがありますが、松阪地域としてはこの枠組みを使って広域でやっていくということですので、ぜひ実のあるものを作っていただければと思います。

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか、他の委員からもぜひご発言いただければと思います。

◎委員：

先ほどの話の続きでございますが、われわれ医師にしましても、輪番の二次病院、それから救急車の出動回数、あるいは、相談ダイヤル 24、それらすべてのデータがございます。そのデータを委員の皆さんにお渡ししてよいものなのか、そこに解説が必要なのか、というようなところもご意見いただければと思います。

◎会長：

ありがとうございます。いかがでしょうか。

◎委員：

たぶん当日に出しては、それを見ているだけで時間がかかってしまうと思えます。

◎会長：

できるかぎりの資料は、事前に委員の皆さんに配布していただき、委員の皆さんについては宿題のようで大変恐縮なのですが、お目通しいただいて、当日までに考えてきていただければと思いますが、そうした面でもどういった資料が

必要なかということについて、今のうちにご意見いただければと思いますし、短いとはいえまだ時間がありますので、本日の会議が終わった後に事務局までご連絡いただければと思いますがいかがでしょうか。

皆さんの意見を聞いていただきながら、ぜひ事務局としても関係委員にアドバイスをいただいて、よい資料を事前にご準備いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

その他はいかがでしょうか。

私からも、不勉強な点もあるので恥ずかしいのですが、いくつかお聞かせいただきたいことがございます。まず事業費のことですが、この事業費は全体として何らかのキャップがあって、それを各課で配分するような形でここに盛り込んでおられるのか、それとも各課ごとにそれぞれの考えでこの数字を入れているのか、いずれなのかということと、そもそもこの構想として、おそらくは各課ごとにそれぞれに入れているのではと思うのですが、そういう考え方で、そもそも定住自立圏構想はいいのかどうかということについてお聞かせいただきたいのが一つ。

そしてもう一つは10ページ以降の個々の事業については次回以降ということだったのですが、逆にいうと8ページまでの資料はもうこれで完成ということでもいいのかどうかということ。具体的に申しますと5ページあたりの将来像のところなのですが、この将来像はタイトルが圏域の将来像となっていながら、松阪地域の将来像が具体的に描かれているかということ、6ページの記載なんかを見ても、あまりそうは感じられないです。こうした事業をした結果、松阪地域としてどういう強みを生かし、またどういう弱みを補っていくのかということが、おそらく将来像を描くということになるのではないかと考えています。定住自立圏というのはこういうものなのかどうかも合わせて、ぜひ教えていただきたいと思います。

◎事務局：

会長から2点程お話をいただきました。

まず事業費ですが、これは各課が個々のシートに掲げています。例えば10ページから事業シートがございしますが、一次救急医療体制事業という事業であれば、この事業をするために必要な経費ということで、27年度については当初予算に計上している事業費を計上しております。

キャップがあるかということは、その配分ということによろしいでしょうか？

◎会長：

17事業全体でキャップがあって、そのキャップの中に17事業の合計を収めるという発想で数字をいれているのですか。

◎事務局：

そういう意味からは、縛りというのはございません。

個々の事業で必要な経費を盛り込んでおります。

各担当課からの、説明にもございましたが、未定とか28年度以降は同じ数字が上げられていたりということがございます。今後、ご議論の中で、もう少し拡充していかなければならないのではないかとか、新たにという部分というのは

当然このビジョンの中へ盛り込んでいく必要があります。

毎年、この中身については見直していくということがございますが、それも予算ですので、議会の議決というのがございます。必ずというお約束はできないものの、ここに盛り込んでいきたいという意思を示すことはできるかと思えます。

また、もう1点ご指摘いただきました将来像の8ページまでの記載につきましては、取り急ぎというイメージを記載させていただいております。

実際、項目については、まだまだ未完成なものもございます。

記述についても不備がございますし、もう少しご指摘いただいたように、厚めに語らなければならないこともありますので、こういう部分を盛り込んでいかなければならないのではないかというご意見も委員の皆さんから頂戴したいと思えますので、どうぞよろしくお願ひします。

◎会長：

確認ですが、あまりこのところでは選択と集中みたいな発想にはならなくて、事業がどれだけ必要かという観点から、様々な意見をいただければいいですか。そういうイメージでよろしいですか。

◎事務局：

おっしゃっていただいたように、事業費には全体として、予算には限りというものがございますので、あれもこれもというわけにはいかないのですが、定住自立圏という大きい圏域の中で必要なことというのはこのビジョンの中へ反映させていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

◎会長：

大事な事業は、どんどん強調しようということだと思えますので、ぜひ皆さまから強い意見を次回以降いただければと思えます。

他いかがでしょうか。

◎委員：

本当に不勉強な者が、こちらの中に参加させていただいて恐縮しているのですが、勉強しながら発言させていただきますので、これからもお願ひします。

それで私、実は4年前に松阪に引っ越してきました、それまでは松阪の旅行者だったのです。訪れる者として来ていたのですが、皆さんいかがでしょうか、松阪の駅に降り立って、また来たい町と思えるかっていうところなのですが、私は美味しいお肉を食べたという記憶しか無かったです。ものすごく高くてなにかすごく不満足というか、気分的にすっきりせず帰ったというものでした。

私ども30代40代以降は本当にイメージが非常に強くて、松阪駅に降り立った時、町が非常に寂しく感じたというのが正直なところでした。あの駅前の開発だとか、もっと皆さんがまた来たいと思えるようなそんな魅力をもっと駅前に出すとか観光マップとか作られて、それを、例えば住民の方たち皆で旅行者の方に配るぐらいの、そんな楽しいまちづくりを現実化できるのではないかという可能性をすごく感じているのです。なので、私ども、本当に新参者ではありますが、難しい議論というのはその後にして、単純に純粹に松阪ってもっと魅

力がある町なんじゃないかっていう、ブランドをもっと発掘してそれをもっと前に出すというのが、一番人を定住させたりとか人をもっと参加させて他地域から来ていただける魅力の一つとして、呼び寄せるものになるんじゃないかと私は思っています。

勉強しながらですが、少しずつ発言させていただこうと思っております。

◎会長：

ありがとうございます。

私たちは、夢を語って、その夢を事業にさせていただくのは行政の担当者の皆さんなので、次回以降色々ご発言していただければありがたいですね。

他にいかがでしょうか。

◎委員：

発言するのも恥ずかしいのですが、委員を受けさせていただくまでに受けさせていただくかどうかというのを考えている時に、どういうものなのかなとインターネットで見させていただきました。

書類をいただくまでに思ったことは、とにかく定住していただくということは、子どもを育てやすい、産みやすい町にしていくのが一番なのかなと最初に思いました。

松阪というのは、医療体制が自慢できるかなと思いますので、子どもが育てやすいような住みやすいようなまちづくりが一番なのかなと思いました。

保育として、病児・病後児保育が上がっているのですが、保育に関しては充実されているのでしょうか。

また、介護、高齢者の方も多くみえると思いますので、子どもたちや障がい者の方が過ごしやすいような意見ができればと思っております。

◎会長：

まさしく次回に検討していくべき重点的な項目でもありますので、ただ今のご発言を踏まえる形で次回までにぜひ配布資料を用意していただいて議論しやすいような形でご意見いただければと思っております。

そのような取り扱いでよろしいでしょうか。

進んでいるのか進んでいないのかということ、どういう物差しで測るべきかという難しい問題もあろうかと思っておりますので、また次回以降、個人的な思いでかまいませんので、お話を聞かせていただければと思います。

ありがとうございました。

本日は時間も残すところ僅かとなってまいりましたので、大変不慣れな議事運営で恐縮でしたが、本日の議題については以上とさせていただきたいと思えます。

ただ、こうした資料を用意してほしいというご意見ご要望に関しては、会議終了後でも結構ですので、事務局にご意見を伝えてくださればと思います。

よろしく申し上げます。

## 8. その他

次回の共生ビジョン懇談会について、日程調整を行った結果、6月16日（火）午後2時から5階特別会議室で開催することを確認。

（午後5時00分終了）